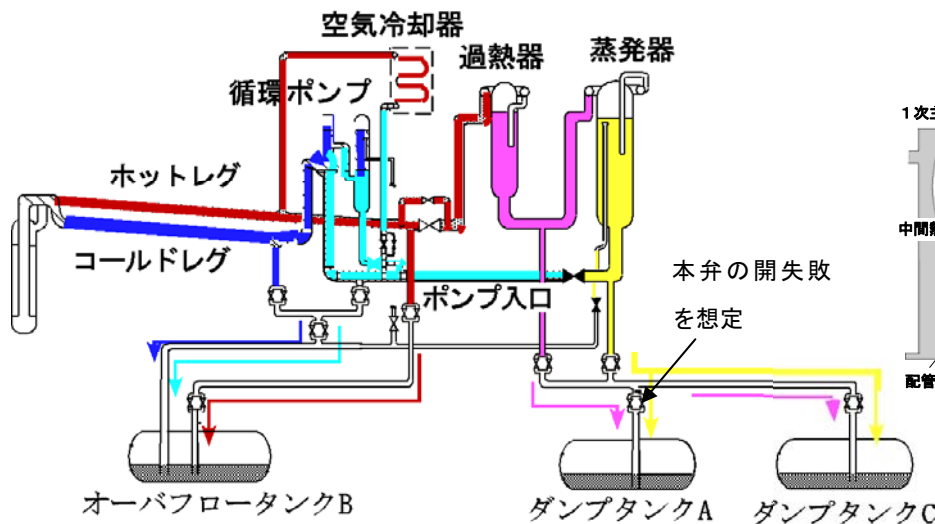
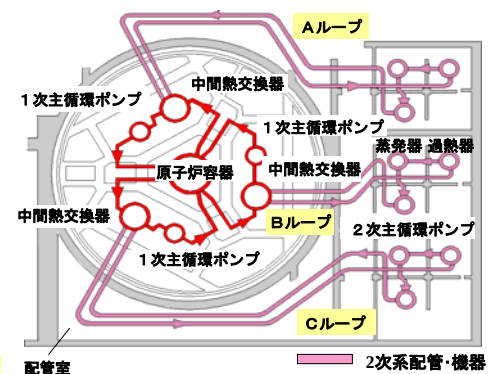


試験件名	2 次冷却系関連試験 (2 次冷却系ナトリウム充填・緊急ドレン模擬試験)	当該試験の速報回数	2
試験目的	ドレン配管の追加・改造、ドレン弁の電動化・多重化等の改造を踏まえた手順に従って、ナトリウム充填を行い、また、同様にナトリウムの緊急ドレン操作によりドレン時間の確認を行う。		
試験範囲	2 次冷却系ナトリウム充填ドレン系 B ループ		
主要な試験項目	試験内容	結果	実施時期
1 ナトリウム充填試験 (B ループ)	ナトリウム充填手順に従い、2 次主冷却系 (2 次補助ナトリウム系含む) へのナトリウム充填が円滑に行えることを確認する。	ナトリウム充填が円滑に行えることを確認した。	平成 19 年 6 月 5～6 日 試験完了
2 2 次冷却系緊急ドレン模擬試験 (B ループ)	緊急ドレン操作を行い、所定のインターロック (ACS の起動阻止インターロック含む) にしたがってドレン弁が動作すること、及びドレンが所定の時間内 (ドレン弁 1 弁が故障で開かないとして 25 分以内) に行えることを確認する。	・インターロックに従い、適切にドレン弁が動作した。 ・所定の時間内にドレンが終了した。	平成 19 年 5 月 21 日～同 7 月 31 日 試験完了



2 次主冷却系 B ループドレン系の構成



冷却系配管平面図

(インターロック試験：7/24 実施)

補助冷却系 (ACS) の起動阻止や弁の動作が所定のインターロックに従って適切に作動し、それぞれの対象弁が定められた時間差で開くこと等を確認した。

(緊急ドレン試験：7/31 実施)

- ・2 次主冷却系の B ループは、独自のダンプタンクを持たないため、ドレン時にはナトリウムはオーバーフロータンク B に加え、A 及び C ループのダンプタンクに抜き取られる。(なお、A、C ループはそれぞれ両方のタンクを有している)
- ・試験は保守的に 1 つの弁 (ダンプタンク A 入口弁) が開かないことを想定して実施したが、ドレンの所要時間は約 20 分であり、目標値である 25 分以内を十分に満足した。
- ・配置の関係で、2 次主冷却系 B ループ (配管) は A、C ループに比べ短いため、ナトリウムの量は約 10% 少ない。このため、ドレン時間も C ループ (7/17 実施) に比べると約 2 分短い傾向が見られた。
- ・緊急ドレン後の配管やサポートへの熱的な影響がないことを確認した。